

会 議 記 録

高松市附属機関等の設置、運営等に関する要綱の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会 議 名	第18回史跡高松城跡整備会議史跡整備部会
開 催 日 時	令和3年7月21日(水) 9時00分～12時00分
開 催 場 所	高松市埋蔵文化財センター講座室(リモート開催)
議 題	(1) 保存活用計画の作成
公 開 区 分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上 記 理 由	
出 席 委 員	尼崎委員、谷委員、西村委員、吉田委員、胡委員、文化庁 浅野調査官 (以上リモート参加) 乗岡委員
傍 聴 者	2人
担当課及び連絡先	文化財課(埋蔵文化財センター) 823-2714

協議経過及び協議結果

会議を開会し、次の議題について報告し、下記の結果となった。

議題（１）保存活用計画の作成

（事務局）資料案を基に順次質疑応答を行った。

主な内容は、第４章 史跡高松城跡の本質的価値の修正、第６章～１２章の内容について、である。

（委員）第４章の本質的価値に準じる価値としての近代の歴史について、詳細に第３章に記載する方がよい。

（委員）城郭、城下町、城といった用語について、示す範囲を明確化して記述すること。

（委員）樹木、地形、海水等の自然的要素も、城郭を構成する重要な資産であるため、本質的価値の構成要素として記述すること。

（委員）調査研究の内容について、天守等の復元的整備に関する項目や、石垣に関する調査についても記述すること。また、種々の史資料を広く対象として研究ができるよう記述すること。

（委員）発掘調査の計画について、どのような方針で実施するのかをより明確化すること。

（委員）活用について、海から見た景観や城下町の視点をより明確に記述すること。

(委員) 建造物の事柄は建造物部会に、石垣に関する事柄は石垣部会に、それぞれ委員

全員と意志疎通と集約を行うこと。

(事務局) 指摘内容を反映して次回会議で再提案する。